

## モロッコ・スペイン・ポルトガル 2006.12.24 ~ 2007.01.11

### ■ 2006.12.24 出発 ■



12:42 普通列車で羽後本荘から秋田へ 13:26 着。14:35 秋田駅からリムジンバスで秋田空港へ 15:15 着 空港ラウンジでくつろぐ。16:15NH1840 便で中部国際空港へ 17:50 着。中部国際空港での待ち時間は 5 時間。時間潰しにはお風呂が一番と、4 階展望風呂でくつろぐ。名古屋名物味噌カツで生ビールを 2 杯。出国手続き後、12 番ゲート横の無料インターネットを利用。

23:00 中部国際空港発 EX0315 便 (エミレーツ航空) でドバイへ。予定どおり飛行機は離陸。機内で過ごす時間は 12 時間。やたらに長い、ちょうど寝る時間なので、結構あつという間。

【名古屋名物味噌カツ】 エミレーツ航空はサービスがい

いし、食事もおいしい。

### ■ 2006.12.25 ドバイは物価が高いのう ■



現地時間 6 時 (日本時間 11 時) ドバイ到着。

15000 円を両替する (436Dh)。1Dh = 約 35 円。

空港から市内は近いというので歩く。道すがら、紫の葉に紫の花、星形の花など珍しい植物がたくさん。機械部品の店がやたら目につく。石油発掘の道具かいな? 正確な地図をもっていないため、何度か迷ってくった。2 つ星ホテルを見つけチェックイン。エクセレントホテル

300Dh。やはり高いが、まずまず快適。

すぐ近くにインターネットカフェがあったが、日本語の読み書きは全くできなかった。

【水たばこのパイプ】

次に、ホテルの部屋からモデムでの接続にトライ。何度やっても認証ではじかれてしまう。こういう状態、以前にも経験はあるが、原因は不明だ。

ホテル近くのバーでビール (ハイネケン) ビール 2 杯で 26Dh。夕食はカバブ 20Dh。羊がおいしい。

### ■ 2006.12.26 モロッコ入国 ■

タクシーで空港。15Dh。免税店でウオッカの小瓶を買う。15Dh。8 時ドバイを離陸。

午後 1 時モロッコのカサブランカ着。38000 円を両替。(2687Dh) 1Dh = 約 14 円。列車で市内へ。カサ・ヴォワジャー駅で乗り換え、マラケシュへ。同席の人々の騒がしさに閉口。ノイズ・キャンセリング・イヤホンでどうにか防ぐ。

7 時マラケシュ到着。新市街のホテルを探す。オテル・アマライ 342Dh。

エアコンがついていて暖かいのはいいが、お湯が出ないので涙。

部屋の電話はダイヤル式で、モジュラージャックの存在どころか、どこに線があるのかも確認できず。当然ザウルスでの通信は無理。ネットカフェも、まともな日本語表示できず。

モロッコ中そうなのかも…と不安になる。

夕食はチキン丸焼き 42Dh。



【カサ・ヴォワジャー駅】



【エミレーツ航空機内食】

■ 2006.12.27 マラケシュを楽しむ ■

最後までお湯は出なかった。9時半、チェックアウト。長距離バスのターミナルへ行き、明日のフェズ行きバスのチケットを買う。150Dh。

メディナの細い道を、安宿街めざして歩く。セントラルパレス 1泊 100Dh。トイレとシャワーは共同だが、ちゃんとお湯が出る。昼食はケフタ（羊のひき肉）サンドイッチにオレンジジュース 20Dh。

午後、歴史地区を観光、クトゥビア、アグノウ門など。バイア宮殿は休憩中で中に入れず。宮殿を囲む門の上にコウノトリがたくさん巣を作っていた。いろいろ捜し回ったあげく、ついに日本語表示のできるネットカフェを発見。残念ながら日本語入力できないものの、メールチェックやニュースの閲覧ができるのはありがたかった。

フナ広場北のスークは世界最大という。物の豊富さ、文化の多様さに圧倒されるばかり。広場には大道芸人がいて、民俗芸能や猿回しなどのパフォーマンスを繰り広げていた。夕方になると屋台が組み立てられ、比較的安く食事ができる。串焼きのケフタはうまかった。

モロッコではお酒の飲める場所が限られているため、通常のレストラン、ましてや屋台ではビールが飲めないのが、何とも残念である。広場のパフォーマンスは、夜は音楽が中心になる模様。あちこちに人の輪ができる。写真を撮ったら、かなり強行にチップを要求されたが、拒否。（後で知ったが、こういう場合モロッコでは、どこでもチップを要求されるそう）

ネットカフェに再び行き、日本語の入力ができるパソコンを見つける。やっとブログ更新ができたが、キーボードがアラビア仕様のため苦労する。コメントに投稿しようとしたが「@」の入力方法がどうしてもわからず、投稿できなかった。



【アグノウ門】



【煮込み料理鍋】



【ケフタ】



【フナ広場の大道芸】

■ 2006.12.28 フェズへ移動 ■

7時半チェックアウト。フェズに移動するため、歩いてバスターミナルへ。8時到着。集合場所で待っていると、おじさんがやってきて、今日はバスは来ないから払い戻せと言う。騙されるもんかと無視したが、その後、窓口の人もそう言ったので、払い戻す。夜行バスに乗れと言われたが、断って鉄道駅へ。運よく、9時発フェズ行きの列車にすぐ乗れた。180Dh。

午後6時到着。長い間座って、お尻が痛くなっちゃった。目星をつけていた駅前のホテルは満室。今回の旅で初めて断られたのと、外を考えていなかったのがショック。

でも、すぐそばにホテルを見つけた。ホテル・ペルラ。

ツインしか空いてなかったのが少々割高（388Dh）だが、今までで一番のきれいさ新しさ快適さ。

熱いお湯とエアコンが何よりも嬉しい。

シャワーのあと、駅前ホテルのバーにて、初めてのモロッコ地ビールを堪能。

「カサブランカ」と「フラッグ」の2種類を味わう。

それから、スーパーでジュースとポテチ、ソーセージを買い、夕食にする。ウオッカの生ジュース割りはかなりいける。

部屋の電話は、モジュラージャックなので、かなり期待したが、通話はフロントのみ。ネット接続未だかなわず。



【フラッグ】

■ 2006.12.29 どうなってるの??? ■

早朝、快適な目覚め。空が明るくなるのを待って、タンジェ行き列車の時刻を調べに出かける。

9時と13時の二つがあったが、とりあえず切符だけ買っておこうと窓口へ。奮発して1等を買ったら、9時の列車の座席指定だった。

まあ、いいか。こいうのが、行き当たりばったりの旅の面白いところだ。

ちなみに、フェズとメクネスは、日本で言えば京都、奈良にあたるらしい。街そのものが世界遺産だ。でも、見所といえば、どちらもメディナ（旧市街）のスーク（商店かな？）以外はだし

たことはない。マラケシュと変わらないのなら、早くスペインに行くのもよい。

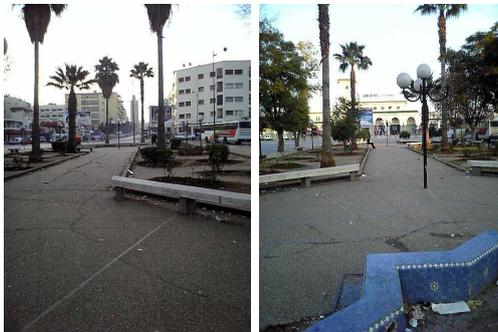
1等の車内で快適な旅をしていた3時間後、ふと停車した駅を見ると、sale という文字が見えた。あれっ？ 不安に襲われるボク…。次の駅で見た文字は RABAT。

完全に別方向にすることが分かった。慌てて降りるボク。おかしい??。フェズの駅でちゃんと乗る前に駅員に確かめたのに。乗ったあと車内で切符の検札を受けたのに。どうなってるの？

幸い、15分後にタンジェ行き列車が来る模様。でも、しばらく待って来たのはフェズ行き。運転士さんは、初め次の列車を待てと言ったが、後になってすぐこれに乗れと言う（フランス語だから分からないが、ジェスチャーでそう判断）。これまた訳の分からないまま動き出した列車に飛び乗る。するとまあ、デッキに入り切れないほどの詰め状態のまま1時間ほど。でも、若いモロッコ女性と密着する機会もそんなにならうから、いい経験かも？

シディ・カセムまで戻って乗り換え。1等に乗直し。今度は1室6席を独り占め。途中から、やたら陽気なおじさんが乗り込んで来た。話し好きらしく、いろいろ話しかけてくるのだが、アラビア語もフランス語も、こちらは理解できない。向こうも英語は少ししかわからないため、身振りも交えてやっと通じるといった具合。でも、このおじさん（ムスタファさん）教え好きらしく、アラビア語でいさおと書いてくれたほか、アラビア語講座までしてくれました。ちっとも分からなかったけど。

結局、列車は大幅に遅れ、タンジェ到着は7時半。予定より5時間もかかっちゃいました。タクシーでホテルへ。安いけど清潔で設備のいいホテル。荷物をおいてすぐにバー。ビール2本30Dh。夕食はフランスパンのみ。



【フェズ駅前】



【タンジェの安宿】

#### ■ 2006.12.30 スペイン入国まで ■

朝8時発のフェリー・チケットを購入、乗り場へ。 出国手続きは簡単なはずが散々なことに。パスポートと出国カードを提出したら下へいけと言われ。並んでいると上へ行けと言われる。

どこへ行けばいいのか教えてくれと頼んでも、さっきと同じ場所を言われる。

まったくモロッコ人はいい加減である。(笑)

やっと場所が分かって手続きをすませ、フェリー乗船。船内は広くて快適。



【ご満悦】



【バル】



【アルヘシラス行きフェリー】

11時（スペイン時間12時）アルヘシラス到着。フェリー会社でユーロに両替。率悪い。タクシーで駅へ。待ち時間に周辺を散策。

昼間からバー（バル）でビールを飲んでいる人多数。いい国へきたもんだ。

15時35分発グラナダ行き列車に乗る。到着予定時刻もちゃんと掲示されており、安心。

やはり先進国は違うのう。予定どおり20時着。タクシーでヌエバ広場へ。

最初に目についたホテル MACIA にチェックイン。52ユーロ。

部屋の電話でインターネットに一発で接続成功。やはり、ドバイでの設定に間違いはなかった。

バルでビールを2杯。一杯ごとに、ポテトやソーセージ、パンなどが小皿に盛られて出て来る。これだけで十分夕食になる。地元の人は何軒もハシゴして楽しむのが習慣とのこと。納得である。

■ 2006.12.31 グラナダ～セビーリャ ■

早朝、朝風呂に入る。バスタブがあるホテルはモロッコではお目にかかれなかったから、感激もひとしお。8時半アルハンブラ宮殿へ。

ホテルのすぐ近くにあるとはいえ、かなり急な坂をえっちらと歩かねばならなかった。

カルロス5世宮殿、王宮、アルカサバ、グラナダスの門など、みどころ満載。日本人ツアーの人々がかかり目についた。

次はアルバイシン地区へ。これまた更に急な坂を登らねばならない。

サン・ニコラス教会からみたアルハンブラ宮殿はなかなかのもの。

この地区は、石畳や家屋など、地区の町並み自体に趣がある。



【アルハンブラ宮殿王宮】



【アルバイシン地区からの眺望】

ホテルに戻り休憩。12時チェックアウト。カテドラル、王室礼拝堂周辺を見学。中ではちょうど日曜礼拝の最中。言っている意味は分からなかったが、しばし厳かな雰囲気に入れることができた。

駅について切符を買おうとして、ユーロが足りないことに気づいた。

幸い、クレジットカードでもOKだったので一安心。でも考えてみれば、今日は日曜日、明日は元旦なので祝日。銀行、その他の両替所はみな閉じたままである。うかつだった。

駅の近くで両替できる所はないかと探したがだめ。

でも周辺を探した続けた甲斐あって、4つ星ホテルのフロントで交渉したら、なんとか1万円だけ両替できましたとき。

16時半発の列車にて、セビーリャへ。安宿のあるサンタクルス街まで歩く。

大みそかのせい、どこも満室。やっと空き部屋ありと言われたホテルは4つ星だった。

今更後にはひけず、カード払い。初め120ユーロと言われたが、80ユーロにまけてくれた。これに7%の税が加算される。

バルやレストランはどこも満杯。やっと入ったレストラン・バルで牛肉ステーキ。

ビールと赤ワインそれぞれ2杯を堪能。部屋に戻り、大きなバスタブにつかり、豪勢な年越しを過ごす。



【生ハム】



【チーズを切ってます】



【4つ星ホテル】

■ 2007.01.01 リスボン遠し ■

スペインの今の季節は夜が明けるのが遅く、朝 8 時でもまだ暗い。9 時近くになってようやく明るくなる。ホテルをチェックアウトしてアルカサルとカテドラルへ。

昨晚見たライトアップされたカテドラルもよかったが、早朝ほとんど誰もいない時間にゆっくりと見学するそれもまた格別である。

川沿いにある黄金の塔を見学してバス停へ。残念なことにリスボン行きのバスは運休。

仕方なく、予定を変更して 15 時 15 分発の列車でメリダに向かう。

到着後、BADAJOZ 行き列車がすぐ接続だったので、それに乗る。21 時近くに到着。

一生懸命探したが駅前にホテルはなし。市の中心で一軒だけ見つけたホテルは高くてだめ。

くたくたになり、最後はタクシーに連れて行ってもらった。25 ユーロ。なかなかいい設備。缶ビール 2 本で爆睡。



【カテドラル】



【黄金の塔】



【BADAJOZ の安宿】



■ 2007.01.02 ポルトガルへ ■

リスボン行きのバスは、夕方までないことがわかった。列車もない。

聞けば、エルヴァまでいけばポルトガルの鉄道やバスに乗れるという。そこで、駅からエルヴァまでタクシーに乗る。

ポルトガル入国である。タクシーで国境を越えるなんて初めての経験だ。

駅で列車の時刻を見ると 15 時発。リスボン行きは 1 日 2 本しかないのね。バスステーションを探し、ひたすら歩く。道を聞いても言葉が解らないので、紙に書いてもらうようにした。

無事発見。1 時発のリスボン行き高速バスに乗る。13 ユーロ。1 時間遅れで出発。17 時、巨大なバスターミナルに到着。帰りのセビーリヤ行きバスの時刻を確認。

隣接した駅に行くも、ガイドブックを持っていないので、どこに行けばいいのかわからない。

駅員に聞いてやっと判明。リスボンでは英語が通じるのでありがたい。

地下鉄から出られなくなったりしながら、やっと中心部のバイシャ地区へ。

バスルーム共同だが 1 泊 15 ユーロの安宿をみつける。すぐ近くにはスーパーも。

ビール 1 リットル 1.2 ユーロ。ワイン 1 本 1.3 ユーロ。ものすごく安い。

夕食はカップめんとおつまみのお菓子ですます。



【エルヴァ BusStation】



【ペンション TOMAR (泊まる?)】



■ 2007.01.03 シントラ観光 ■

疲れのため、おそく目覚める。11時外出。地下鉄の1日フリーパス券を購入。列車を乗り継いで、バイロンが「エデンの園」と讃えたという世界遺産の街シントラへ。シントラ宮殿、ペーナ宮殿、ピソエスの泉、ムーアの泉などを観光。午後3時、バイシャ地区に戻り、両替。やっとユーロ貧乏から解放された。使えるお金もっていないことがどれだけ心細いか思い知らされた。近所を散策中インターネットと電話のできる店を発見。ザウルを電話線につないで通信成功。メールチェックにニュース確認。対ユーロの円安が史上最高という。何もいさちゃんがヨーロッパにいる間に記録更新しなくてもいいのに…。夕食はシーフード・レストラン。茹でたエビと、白身魚のフライ。たいへん美味。ライスとサラダ、パンもつく。ビール2杯つけて21ユーロ。



【シントラ宮殿】



【ピソエスの泉】



【ムーアの泉】

■ 2007.01.04 ベレン地区観光 ■

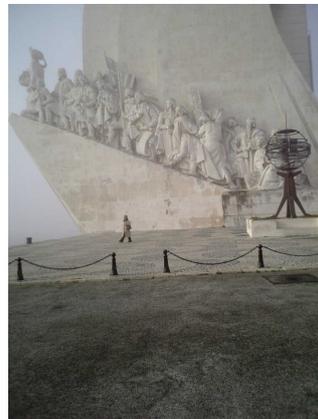
早朝、ホテル周辺を散策。サンジョルジェ城を目指したが、着いたのはただの展望台…(涙)。気を取り直し、市電15番でベレン地区へ。世界遺産「ジェロニモス修道院」は見事。内部も一見の価値あった。濃い霧のため、向かい方向にあった「発見のモニュメント」を、あやうく発見しそこなうところであった。12時ホテルをチェックアウト。



【ジェロニモス修道院】



【修道院内キリスト像】



【発見のモニュメント】

■ 2007.01.04 盗難！！ ■

インターネットカフェで時間をつぶしている最中、事件は起きた。ザウルスでブログを更新しようと、わきに置いたディパックに手を伸ばしたが…。ないっ！どこにもない！盗まれたことは、すぐにわかった。店の構造上、隣のボックスからしか盗むことはできないのだが。うかつであった。金目のものはすべて身につけていたので、大きな被害はない。でも、レンタルした海外携帯、iPod、ザウルスの周辺機器などがなくなってしまった。困るのはモデムのケーブルがなくなって、通信ができなくなったこと。携帯のiモードも当然使えない。また、大きな心配は、携帯が犯人に使用されることだ。警察で盗難証明書を発行してもらったあと、急いで携帯の使用を止めるための電話をかけた。以前バンコクで盗難の経験があるから、対処はばっちりである。証明書があれば、カード会社の保険が効くので大きな損害はない。またいい経験しちゃったなあ…。気を取り直し、20時45分夜行バスで再びセビーリャへ。



【盗難に遭った Net Cafe】



【席はこんな構造】

(窓際の間隙から抜かれた模様)

■ 2007.01.05 カサブランカに辿り着く ■



朝 5 時半到着予定が 3 時 (現地時間 4 時) に着く。  
 7 時 15 分、旧市街のバス停からアルヘシラス行きバスに乗る。  
 10 時過ぎ到着。11 時のフェリーに間に合う。  
 余ったユーロのコインが 7.5 ほど。  
 「これしか持ってない」と頼み込み、ビールと牛肉の煮込み、  
 ライスを食す。  
 3 時 (現地時間 2 時) 過ぎ到着。タクシーで駅。  
 17 時半の列車でカサブランカへ。  
 待ち時間が異常に長いのに慣れちゃったなあ。  
 23 時半到着。遅い時間なので、タクシーの運転者さんにホテル  
 (Plaza) を紹介してもらおう。1 泊 322Dh。  
 さすがにレストランはどこも閉店時間。  
 水を飲んで寝る。

■ 2007.01.06 近代都市カサブランカ ■



【Plaza Hotel】



【舌平目のムニエル】

嬉しいことに宿泊したホテルには大きなバスタブがついていた。栓がなかったが、そこはいさちゃん。コップとハンカチでうまく栓をこしらえた。石鹸で髪を洗うのは少しさみしかったが…。  
 近所を散策してみると、市の中心部であることがわかった。さすがはモロッコの大都。買い物、食べ物、おみやげ、日用品にいたるまで、すべてこの近所だけで事足りる。  
 何より、日本語表示のできるインターネットカフェを見つけたことは大きい。メールとニュースチェック。ファーストフード店で鳥と野菜のクレープ包みを食べる。18Dh。うまい！  
 雑貨屋にて、安全カミソリ、歯ブラシ、シャンプーを購入。それから、水。部屋に戻って洗濯。ディパックはなくなったが、別に困ることはないんだなあ、必要な物は旅先で手に入るんだと実感。  
 午後、昼寝をしたら、夕方まで爆睡。さすがに疲れがたまっていた模様。夕食はシーフード。舌平目のムニエルにビールと国産メクネス・ワイン。大満足。125Dh。

■ 2007.01.07 4つ星ホテルでのんびり ■

11時チェックアウト。ホテルから離れた地区を散策するも、日曜閉店の店が多い。あてにしていたネットカフェもお休み。おいしい。

今日くらいはいいホテルに泊まろう、と奮発して4つ星ホテル「Ajiad」。1泊 630Dh。

昼食はサンドイッチとコーラ。21Dh。

別のネットカフェを見つける。ここも日本語表示 ok で1時間 10Dh。あとは部屋でゆっくり休養。夕食は、オムレツにラムのミニステーキ。もちろんビールにワインも。135Dh。



【Ajiad Hotel】



【ラムのミニステーキ】



【ラム肉煮込】

■ 2007.01.08 帰国前日 ■

11時半チェックアウト。ネットして、明後日泊まる名古屋駅前のホテルを予約。その後、タクシーでカサヴォイジャー駅に行き、空港までの列車の時刻を確認。1時間に1本、同じ出発時間の模様。戻ってまた、plaza ホテルにチェックイン。

■ 2007.01.09 モロッコ出国 ■

ホテルを早めにチェックアウト。タクシーでカサボイジャー駅。

駅前のカフェで、モロッコ名物「ミントティー」を味わう。とてもびみよーな味 (^\_^)

空港まで列車。早めのチェックインで、座席を確保。もちろん通路側。

EX0752 便で カサブランカ 14:15 発 ドバイ 01:30 到着。



【名物ミントティー】



【カサボイジャー駅】

■ 2007.01.10 大幅遅れ ■

飛行機が大幅に遅れる。もともと乗り継ぎ時間が75分しかないのに。着いたのは15分前。おまけに、出発ゲートは一番端っこ。免税店で買い物をする計画どころではなくなった。必死に走る。EX0314便はドバイを3時20分（日本時間8時20分）過ぎに出発。時差ぼけ予防のため、機内ではずっと起きていた。日本映画を4本も観たぞ。「海猿2」「トリック2」「県庁の星」「明日の記憶」。出発が30分以上遅れたのに、日本到着は定刻。15時50分。荷物が無いので税関を通過するのも早い。名古屋駅前のビジネスホテルに宿泊。居酒屋で久々の「和」に浸る。

■ 2007.01.11 帰郷 ■

4時前に目覚め、そのまま起きていた。前日寝てないのに、どうということ?? ホテルのバイキング朝食をたらふく食べる。10時チェックアウト。駅前のビッグカメラ内のドコモショップに行き、携帯再開の手続きをする。16時30分発の飛行機で秋田へ。15時50分到着。雪がないのにびっくり。兄に迎えに来てもらい、無事自宅に戻る。